

## 【高岡税務署長賞】

### 「税の使い道」

富山県立新湊高等学校二年 大橋 優妃

私たちは買い物をするときに税金を払っています。また、病院へ行くときも家に住んでいるときも税金を払っています。私たちは何のために税金を払っているのでしょうか。

私は先日、自分たちが何気なく払っている税金が何のために、何に使われているのか調べてみました。税金は私たちの身近なところでたくさん使われていました。例えば、私たちが病気になったときやけがをしたときに手当してもらおうお金の一部は税金が使われています。自分が老後に安心して暮らせるために年金を国から受けとります。これも税金が使われています。また、毎日の生活の中では上下水道の整備や道路の整備などにも税金が使われています。正月に起きた能登の地震で壊れた道路なども税金を使って直されています。私が小・中学生だったときの教科書やパソコンなどにも税金が使われていました。このように税金は生活の中でたくさん使われていて、私たちの生活を支えていると分かりました。税金がなかったら私たちは安全に暮らせず、苦しい生活をしなければならなかったと思いました。あまり深く考えずに払っていた税金がこのような形で私たちの支えになっているというのは知らなかったし、税金を払うのは意味があることだと思いました。二十歳から年金を払わなければならないけれど、払っていない人はたくさんいると知りました。しかし、年金を払わないと自分の老後にもらえる年金が減ってしまいます。年金を払うのは高いけれど払うことは将来の自分のためにつながっていると感じました。また、日本は困っている国を助けるためにダムや道路、病院をつくったり病院で使用する薬を送ったりしていて、これらの活動にも税金が使われていると知りました。税金は私たちの生活の中だけでなく世界の手助けにも使われていると分かり、嬉しくなりました。直接ではないけれど間接的に困っている人を助けられていることは喜ばしいことだと感じました。税金は高く払うのが嫌になるかもしれないけれど自分が安全に暮らしていくためには払わなければいけないと思いました。また、誰かの助けにもなっていると知ったのでしっかり税金をこれからも納めたいです。